



Hot & Unique ゼミ活動ご紹介

商・宮川ゼミ

徹底的な企業分析、そして深い考察から生まれる  
コーポレートファイナンス理論

宮川ゼミがダイドーGHD(株)の未来を経営陣に提案

コーポレートファイナンス理論の実証研究を専門とする大阪市立大学商学部・宮川ゼミナール（担当：商学部 宮川 壽夫 教授）は、今年の夏からダイドーグループホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：高松 富也）の協力のもと、企業分析を続けてきました。10月31日（水）には、同社コーポレートコミュニケーション部に対して最終報告会を行い、「DyDo グループ成長戦略の課題と展望～モノを売る自販機からヒトを集める自販機へ～」と題し、これまでの企業分析・研究に基づく将来に向けた提案を行いました。

宮川ゼミの取り組みは、約半年にわたって企業の分析・研究を徹底的に行い、企業へのヒアリングを繰り返しながら5年間の予測財務諸表を作成し、最終的には分析レポートを執筆、先方の経営陣向けにプレゼンテーションするという非常にユニークなものです。本ゼミナールの活動についてご取材をご検討いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

●これまでの活動内容

① 7/4 企業概要説明会&意見交換

ダイドーの歩みや事業内容について、詳しく説明していただくとともに試飲会を実施。コーヒーなど商品のこだわりを学びました。



企業説明の様子

② 8/27 決算発表記者会見の見学

&社長とのスモールミーティングを実施

第2四半期決算発表の記者会見を見学。その後、代表取締役社長 高松氏とのスモールミーティングを実施し、経営者としての見識や考えを学びました。



社長とのスモールミーティングの様子

### ③ 10/31 最終報告会

数カ月にわたり、同社の現状や将来性など、さまざまな角度から分析。最終的には、同社のコーポレートコミュニケーション部に対して、将来に向けた提案を行いました。



最終報告会の様子



商学部 宮川 寿夫 教授

#### 担当教員からのコメント

「学生の研究のために多くのご支援とご協力をいただいた企業に感謝申し上げます。大学にこのような研究の機会と素材を積極的にご提供いただくことは企業のESG推進活動の一環としても高い評価ができると思います。

また、インターンシップの本来の意味としても学生にとって非常に意義のあることだと感じています。学生にとっては自分たちが勉強していることが空理空論ではないことを知ると同時に、現実の企業経営には計算式で解決するものではなく、固有の特別解が存在することを実体験として学んだと思います。」

#### 【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学商学部 教授 宮川 寿夫  
E-mail : miyagawa@bus.osaka-cu.ac.jp

#### 【報道・取材に関するお問合せ先】

大阪市立大学広報室 担当：三苦（みとま）  
TEL : 06-6605-3411  
E-mail : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp